

## 「小田急沿線住まいをつなぐプロジェクト」が第33回住まいのリフォームコンクール優秀賞を受賞

この度、小田急不動産・小田急ハウジングで実施した「小田急沿線住まいをつなぐプロジェクト」が公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター主催の第33回住まいのリフォームコンクールにおいて、ビジネスモデル部門 優秀賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

小田急不動産・小田急ハウジングでは、経堂・町田・座間地区の約22,000世帯が、国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」に認定されたことから、昨年4月より「小田急沿線住まいをつなぐプロジェクト」を発足しました。本プロジェクトでは、沿線の住みかえ促進を図るべく、空き家の利活用に加えて、「住まいのプラザ」を中心に、沿線の皆さまへ流通促進に関する情報提供を積極的に行うことで、既存住宅流通とリフォーム分野の連携を強固としたビジネスモデルを構築したことが総合的に評価されました。

### ■空き家の利活用の事例（世田谷 小田急住まいのプラザ）



### ■住まいのリフォームコンクールとは

このコンクールは、主催：公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター（後援：国土交通省、独立行政法人 住宅金融支援機構など）により、住宅リフォームの普及とリフォームの水準向上を図ることを目的として、全国各地で施工された住宅リフォームの事例を募り、優秀な事例について建築主・設計者・施工者を表彰するものです。本年度は、総数509件の応募があり、このうち入賞30作品が選定されています。

### ■表彰式の様子



### ■応募作品の内容はこちら（公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター）

[https://www.chord.or.jp/tokei/contest\\_01.html](https://www.chord.or.jp/tokei/contest_01.html)